

南日本産ほんだわら屬ノ種類ニ就テ（其二）

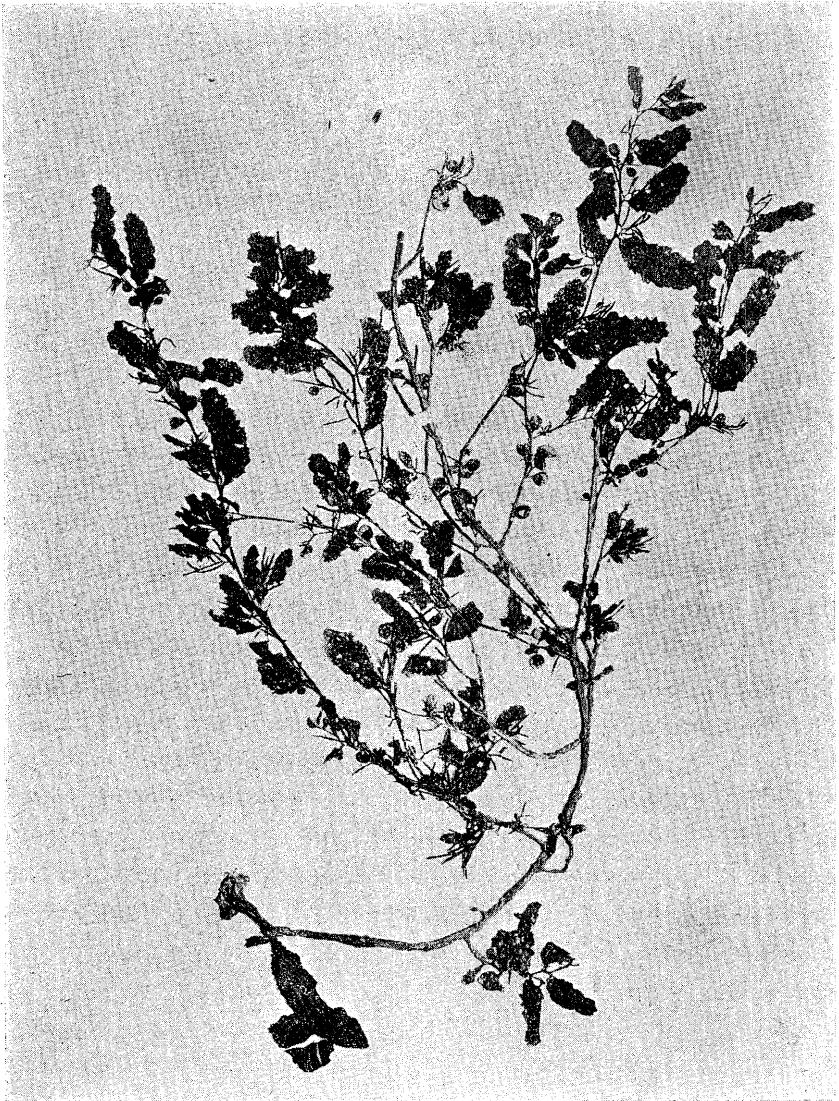
山 田 幸 男

Yukio YAMADA: Notes on *Sargassum* from the Southern Parts of Japan (II).

6. きしうもく *S. siliquosum* J. Ag., Spec. alg. (1848) p. 316; Id., Spec. Sarg. Austr. (1889) p. 121, pl. 10; REINBOLD, in WEBER v. BOSSE's Liste des alg. du Siboga vol. 1 (1913) p. 154; GRUNOW, Addit. ad cognit. Sarg. (1913) p. 173.—(第9圖)。

根ハ判然トシナイガ小サナ 假盤狀根デ、莖ハ長サ 1.5 cm 圓柱狀デ殆ト平滑、ソノ上端附近カラ一本ノ主枝ヲ發スル。(恐ラクコレハ各方面ニ發スルモノデアロウ)、主枝ハ絲狀デ幾分扁壓サレ平滑、約 2 mm 太ク、基部カラ 30 cm ノ所デ切レテワリ上部ガ失ハレテキル故ニ全長ハ不明デアル。ソレカラ約 2-3 cm ノ間隔ヲオイテ小枝ヲ稍、2 列ニ發スル。小枝ハ下部ノ長イモノハ長サ 25 cm ニ達シ主枝ヨリモ細イ點ヲ除イテハ主枝ト略、同ジデアル。葉ハ長橢圓形デ膜質、邊緣ニ荒イ鋸齒ガアリ、先端ハ鈍圓デ、基部ハ不均齊デアル。中肋ハ中途デ消失シ先端迄届カズ、毛叢ハ不規則ニ散布シテキル。體ノ基部ニ近クアル大ナルモノデハ 4.5×1 cm、小枝ニアル小ナルモノデハ 3×1.2 cm—1.5×0.5 cm 位ノ大サヲ有スル。氣胞ハ倒卵形或ハ略球形、大ナルモノハ長サ 7 mm 許デ先端圓ク、毛叢ハ僅カニ之ヲ存スルカ或ハ缺キ、柄ハ扁平デ氣胞自身ノ長サヨリモ短イ。本種ハ雌雄異株デ宮古産ノモノハ雄株デ生殖器托ハ圓柱狀、線形、長イモノハ 1.6 cm ニ達シ刺ナク、聚繖花序狀又ハ圓錐花序狀ニ配列サレ屢、氣胞ヲ交ヘテキル。(一圓錐花序中ノ下部ノモノハ各自短柄ヲ具ヘテキルガ上部ノモノハ柄ナク分岐シテキル)。

本種ノ初メテ我邦カラ報ゼラレタノハ MARTENS ガ Preussische Expedition nach Ostasien, Tange, p. 116 ニ於テ長崎カラ報ジテキルモノデアルガ遠藤博士ハ紀州串本ニ之ヲ採リ Fucaceae of Japan, p. 150 ニ之ヲ報ジ、後岡村先生ハ瀬川孝吉氏ノ臺灣紅頭嶼ニ採レル標本ヲ之ニアテ圖譜第 6 卷ニ於テ圖說サレタ。然シ遠藤博士ハ岡村先生ノ名彙第 2 版 p. 215 ニ於テ MARTENS ノ長崎産標本並ニ同氏ノ紀州産ノ標本ニ就テモ疑問ヲ表明サレ恐ラク兩者共眞ノ *S. siliquosum* J. Ag. ニハ非ザルベシトサレタ。更ニ上述岡村先生ノ此種ト同定



第 9 圖 きしうもく *S. siliculosum* J. Ag. 宮古島産 ×ca. 2%.

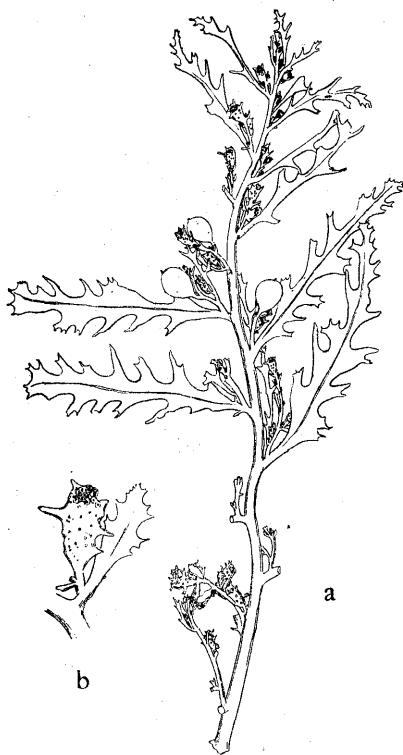
サレタ紅頭嶼ノ標本ハ何レモ生殖器托ヲ有セズ且ツ主軸(主枝)ハ扁平トナリ
果シテ此ノ種ト斷定スルノハ甚ダムヅカシイ様ニ見ヘル。之ニ反シテ故岡村
先生ノ殘サレタ標本中ノ未決定ノ分ノ内ニ昭和 12 年 12 月 7 日 田代氏が宮古

島嶼那覇灣ニ於テ採集セル標本ノ No. 8-A ト云フノガ保存サレテヲリ、コレハ上述ノ記文ニアル様ニ體ノ上部ハ缺イテキルガ基部並ニ下部ヲ具ヘ且ツ最も幸ナコトニハ立派ナ生殖器托ヲ具ヘテキル。コノ標本ハ明カニ *S. siliquosum* J. Ag. ニ當テラルベキモノデ僅カニ葉ト氣胞トガ短イ點ヲ除ケバ生殖器托ノ性質ヲ初メ他モ好クコノ種ノ記載文並ニ特ニ J. AGARDH ノ與ヘタ Species Sargassorum Australiae, pl. 10 ノ圖ニ好ク吻合スル。

本種ハ印度洋及太平洋ニ廣ク分布シ即チ 昭南島、スンダ島、マカッサール、ケイ島、フィリッピン、ニューギネア等デ採集サレテキル。

7. うすばもく *S. tenuifolium* YAMADA, sp. n. (第10-11 圖)。

植物體ハ全體トシテ比較的纖弱ノ方デ中位ノ大サヲ有スル。根ハ直徑約 1-1.5 cm ノ小サナ盛り上ツタ盤狀デ、莖ハ非常ニ短ク長サ 0.5 cm ニ達スルコトハ稀デ 2-3 mm ノ事多ク、多クハ 1 本稀ニ 2 本ノ主枝ヲ發スル。主枝ハ長サ約 50 cm 或ハソレ以上トナリ、基部附近ハ圓柱狀、上部ハ幾分扁壓サレ約 4-5 mm ノ幅ヲ有シ葉ノ著ケ根カラ下降スル 2-3 本ノ稜線ヲ示シ、コレガ爲ニ乾燥標本デソノ切口ガ屢々三角形ヲ示ス。而シテ各方面ニ小枝ヲ約 1.5-4 cm ノ間隔ヲオイテ發出スル。小枝ノ體ノ下部ニ於ケルモノハ反掎シ屢々非常ニ長クナリ、時ニ 50 cm. ニ達シ幅ハ約 1-2 mm 許、更ニ小枝ヲ各方面ニ發出スル。葉ハ主枝ノモノハ多ク反掎シ、披針形デ短イ柄ヲ有シ、先端鈍頭、羽狀ニ深ク切レ込ミ或ハ深イ鋸齒ヲ有シ、裂片ハ更ニ鋭イ小鋸齒ヲ具ヘテキルガ時ニ、特ニ體ノ



第10 圖 うすばもく *S. tenuifolium* sp. n.
a. 成熟セル小枝 $\times 3/2$. b. 生殖器托 $\times 4$.

下部ノモノハ鋸齒ガ不明瞭トナル。大ナルモノデハ長サ 5 cm 幅 1.2 mm アリ、中肋ハ頂端迄ハ達セズ、毛叢ハ僅少、膜質デアルガ體ノ上部ノモノハ特ニ薄ク。



第 11 圖 うすばもく *S. tenuifolium* sp. n. \times ca. $\frac{1}{8}$.

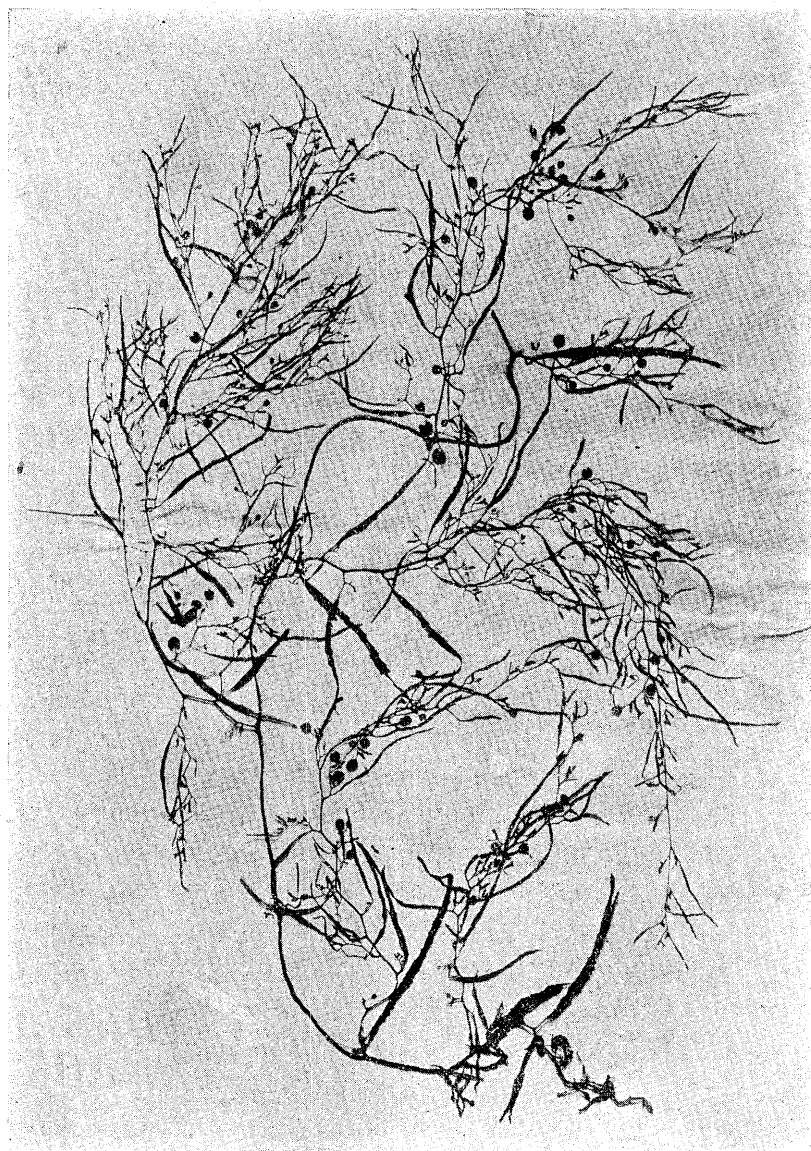
且ツ細クナリ、鋸齒モ鋭クナリ毛叢モヘリ、時ニ存在シナイ。或ハ時ニ稍、羽狀ニ分裂スルモノガアリ 又末端小枝上ノ小葉ハ非常ニ不規則ナ形ヲ呈スルコトガアル。氣胞ハ倒卵形デ長サ 8 mm ニ達シ、毛叢ナク、頂端ニハ微凸頭ヲ有スルカ又ハ小葉ヲ付ケテキル。柄ハ短ク圓柱狀又ハ稍、葉狀ニ廣ガル。生殖器托ハ扁壓、篋形デ兩縁及ビ頂部ニ刺ヲ有シ、單獨又ハ稍、總狀ニ配列サレ、同一器托上ニ雌性並ニ雄性ノ生殖窠ヲ生ズル。

本種ニ近縁ナル種ヲ已記載種ノ内ニ求メルナラバ *S. lacerifolium* (TURN.) J. Ag. ヲ舉グベキデアロウ。然シ此種ノ生殖器托ハ三稜ヲ有シ、氣胞ハ屢、翼片ヲ有スルト云フ點デ明ニ區別サレル。

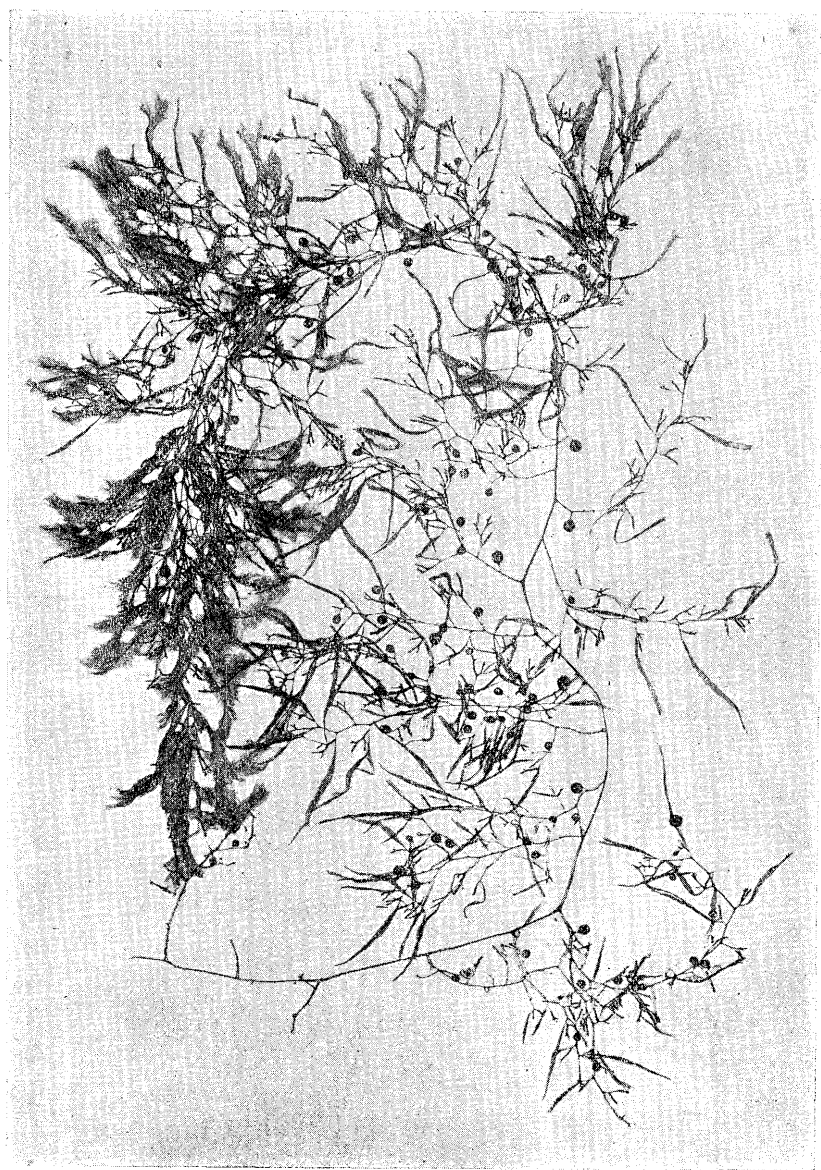
本種ハ最初大正 14 年夏筆者之ヲ土佐須崎ニ採集シタガ後昭和 2 年 8 月現鹿児島島枕崎水産學校教諭 濱名龜助氏ハ奄美大島古仁屋ニ採テ筆者ニ送附セラレタ。土佐ノ標本ハ生殖器托ヲ有スルモ基部ヲ缺キ、大島ノモノハ體ノ上部デ生殖器托ハ缺クモ此ノ兩者ガ同一ノ種ナルコトハソノ特有ナル葉ニヨツテ容易ニ決定シ得タ。而テ生殖器托其他ノ性質ヨリシテ本種ガ故遠藤博士ノ *Micracantha* ナル亞屬ニ屬スルコトガ推定サレル。勿論我邦已知ノ種中ニハ此ノ植物ヲアテルベキモノハナイ。唯つくしもく (*S. kyushianum* YENDO) ガ稍、近似シテキル様ニ思ハレルガコレハ岡村先生ノ日本海藻誌ニ於テハとげもく (*S. micracanthum* YENDO) ノ異名トサレタ程とげもくニ近イモノデ到底本植物ヲ之ニ同定スルコトハ出來ナイ。ヨツテ上述ノ 2 標本ヲ ルンド へ持參シ AGARDH ノ腊葉ト比較研究シタガ本植物ニ該當スベキ種ハ見出シエナカツタ。ヨツテ之ヲ新種ト斷定シタガ、基部ガ不明デアツタ爲ニソノ發表ヲサシ控エテキタ。然ルニ其後瀨川理學士ハ昭和 12 年伊豆 式根、神津ノ兩島ニ於テ同種ヲ採集シ又昭和 15 年猪野北大助教授ハ筆者ノ請ニ應ジテ之ヲ紀州串本ニ於テ、又同夏 8 月中村理學士ハ之ヲ大隅國內ノ浦ニ採集シタ。而テ此等ノ標本ハ何レモ完全ナモノデ生殖器托モ基部ヲモ具ヘテキルノデ初メテ完全ナル記載文ヲ作ルコトガ出來タ。而シテソノ分布狀態ハ現在ノトコロ伊豆七島カラ紀州、土佐、大隅奄美大島ニ至ル範圍デアルコトガワカリ、琉球、臺灣ニハ未知デアル。

8. ほそばもく *S. angustifolium* (TURNER) J. Ag., Spec. alg. vol. 1 (1848) p. 309; Id., Spec. Sarg. Austr. (1889) p. 81, pl. 25, fig. 1; SETCHELL, Hong Kong Seaweeds IV (1935) p. 3—*Fucus angustifolius* TURNER, Hist. Fuc. vol. 4 (1819) pl. 212—*S. vulgare* var. *linearifolium* YENDO (non J. Ag.), Fuc. Japan (1907) p. 145, pl. 17, fig. 5.—(第 12-13 圖)。

本種ト同定サレル標本ハ嘗テ故遠藤博士ガ Fucaceae of Japan ニ於テ圖說



第 12 圖 ほそばもく *S. angustifolium* J. Ag. \times ca. $\frac{3}{4}$.
土佐ニテ牧野富太郎博士採集、北大農學部腊葉庫所藏。



第 13 圖 ほそばもく *S. angustifolium* J. Ag. \times ca. $\frac{3}{8}$.

サレ *S. vulgare* var. *linearifolia* J. Ag. トサレタモノデアル。然ルニ後大正 5 年藻類名彙 2 版ノ内 *Sargassum* ヲ擔當サレタ際ニソノ鑑定ノ誤ナルコトヲ認定サレタガ、然シソノ何種ニ屬スルヤハ尙後日ノ研究ニユヅラレタ儘ニナツテキルモノデアル (名彙 p. 213)。然ルニ他方 GRUNOW 及 SETCHELL 兩氏亦此ノ遠藤博士ノ同定ニ疑ヲ抱キ特ニ後者ハ上ニ引用シタ文献ニ於テ遠藤博士ノ圖說サレタモノハ恐ク香港ヨリ SETCHELL 教授ガ *S. angustifolium* J. Ag. ? トシテ報ゼルモノト同種ナラント述ベテキル。遠藤博士ノコノ土佐産ノ標本ハ牧野博士ニヨリ採集サレ宮部博士ニ送ラレ、目下ハ北大農學部水産學教室ノ腊葉室ニ收藏サレテヲリ、ソノ全景ハ寫眞ニ示ス通りデ體ノ上部ノ一部ヲ示スモノデアル。所ガコノ標本ノ他ニ先年廣島文理科大學ノ尾道向島ノ臨海實驗所ノ瀧博士ガ昭和 10 年 8 月 16 日ニ備後灘ニ於テ採集シテ筆者ノ許ニ送ラレター標本ガアル。コレモ體ノ上部ノ一部ニ過ギナイガ、生殖器托ヲモ具ヘ、ヨク此ノ特徴ヲ示シテキル。コレハ上ノ牧野博士採集ノ標本ヨリモ全體ガ凡テ大形ニ出來テ來テキルガ全ク同種ト思ハレル。下ニハ備後灘産ノ標本ニ基イタ記文ヲ與ヘル。

體ノ基部並ニ根部ハ不明。主枝? ハ絲狀平滑デ約 1-2 cm ノ間隔ヲオイテ小枝ヲ各方面ニ發出スル。小枝ノ長イモノハ 12 cm ニ達シ絲狀、纖細デアル。葉ハ甚ダ薄イ膜狀デ黃褐色ヲ呈シ、線狀披針形又ハ線狀、長キハ 4 cm ニ達シ幅廣キモノハ約 2 mm アリ、上下ニ長ク漸々ニ細マリ所々ニ鋸齒ヲ具ヘ先端ハ稍、尖リ中肋ハ甚ダ弱ク、特ニ細イ葉ハ殆ド中肋ヲ缺キ、甚ダ小サナ毛叢ヲ具ヘテキル。氣胞ハ略々球形ヲ呈シ大ナルハ長サ 5 mm 許先端圓ク、毛叢ハ僅カニアリ又ハ之ヲ缺ク、柄ハ甚ダ細ク圓柱狀デ通常氣胞自身ノ長サヨリモ短イ。生殖器托ハ圓柱狀デ表面凹凸アリ、刺ハナク屢、ニ又シ又屢。氣胞或ハ小葉ヲ交ヘテキル。同一器托内ニ雌性並ニ雄性ノ生殖窠ヲ生ズル。

產地：土佐、備後灘。

分布：印度洋、濠洲ノ北部、香港。

9. まじりもく *S. carpophyllum* J. Ag., Spec. alg. vol. 1 (1848) p. 304; Id., Spec. Sarg. Austr. (1889) p. 82, pl. 25, fig. 2; GRUNOW, in Askenasy's Gazelle, Algen (1888) pl. 24, pl. 6, fig. 1; Id., Addit. ad cognit. Sarg. (1913) p. 366; REINBOLD, in WEBER v. BOSSE's Liste des alg. du Siboga vol. 1 (1913) p. 153; SETCHELL, Hong Kong Seaweeds IV (1935) p. 7.

本種ニ該當スル標本ハ筆者ガ大正 13 年春初メテ臺灣ニ海藻ノ採集ヲ試ミタ際ニ澎湖列島内ノ員貝島ニ於テ打揚品ヲ一個採集シタモノト他ニ三宅驥一博

士ニヨツテ但馬ニ採集サレ、故 遠藤博士ニヨツテ *S. vulgare* var. *linearifolia* J. Ag. ト同定サレタモノデアル。(然シ *Fucaceae* of Japan ニハ此ノ標本ノコトハ引用シテナイ)。而テ兩者共體ノ上部ヲ示ス斷片デアルガ 後者ニハ生殖器托ヲ具ヘテキル。此ノ種ハ上ノ *S. angustifolium* (TURN.) J. Ag. ト好ク似テハキルガ葉ガ彼ヨリモ幅ガ廣イノデ區別サレル。尙此等ノ標本ハ J. AGARDH ノ標本ト好ク一致スル事ガ比較ノ上確カメラレタ。

分布： セイロン島、トレス海峡、香港、濠洲東部、ニューカレドニア。

10. あつばもく *S. crassifolium* J. Ag., Spec. alg. vol. 1 (1848) p. 326; Id., Spec. Sarg. Austr. (1889) p. 89; REINBOLD, in WEBER v. BOSSE's Liste des alg. du Siboga vol. 1 (1913) p. 158; GRUNOW, Additam. ad cognit. Sarg. (1916) p. 390.—(第14-15 圖)。

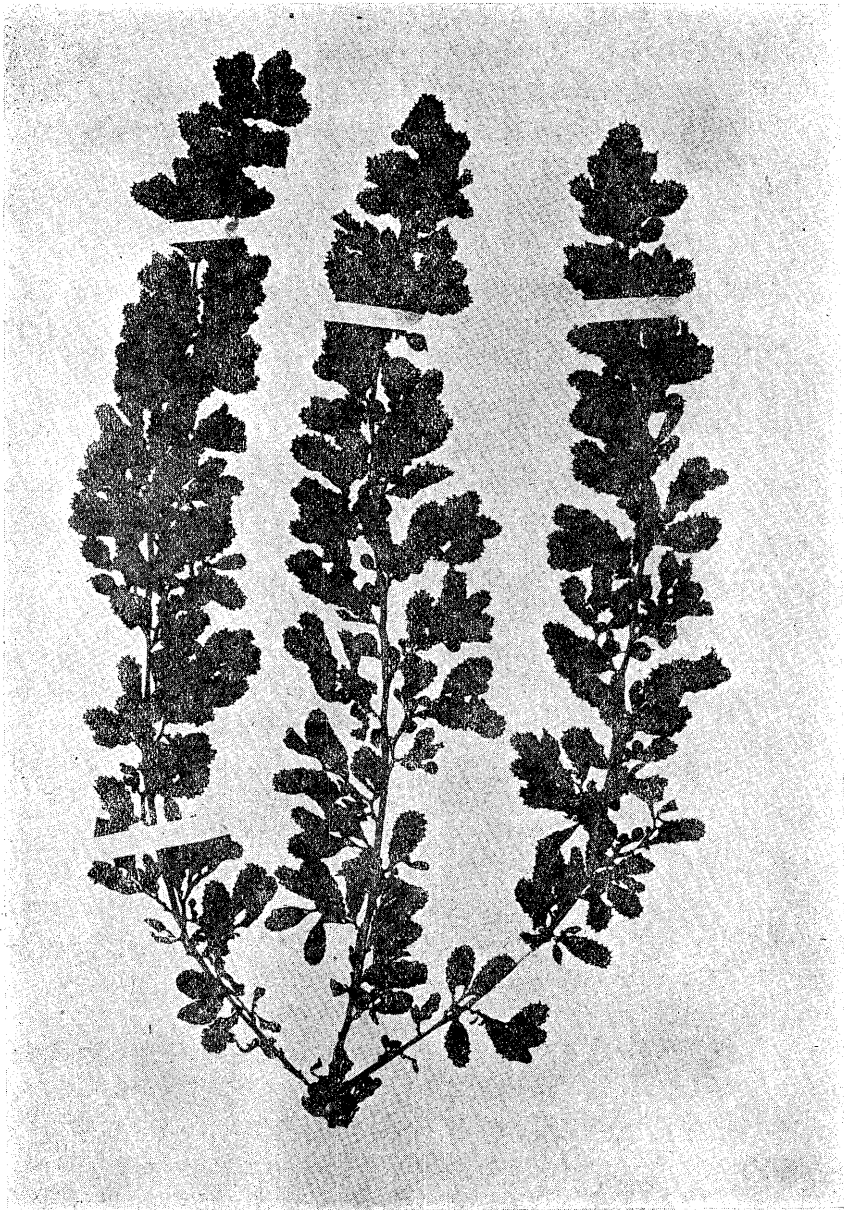
體全體ハ甚ダ厚ク肉質且ツ粗澁デ體長約 50 cm ニ達スル。根ハ 直徑 1 cm 内外ノ小サナ圓盤狀。

莖ハ甚ダ短ク、1 cm ニ達スルコト稀ニ圓柱狀平滑デ約 2.5 mm ノ直徑ヲ有シ、通常 2-4 本ノ主枝ヲ各方面ニ發スル。主枝ハ扁壓サレ平滑、長サ 30-50 cm 位、約 1-1.5 cm 位ノ間隔デ小枝ヲ略、2 列ニ互生スルガ上部ニ行クニ從テ密トナル。小枝ハ比較的短ク、長サ約 5-8 cm 大體主枝ト同様デアル。葉ハ橢圓



第 14 圖 あつばもく *S. crassifolium* J. Ag.
成熟セル小枝 $\times 4/3$.

形又ハ狭イ橢圓形デ大ナルモノデ長サ約 3.5 cm 幅約 2 cm アリ。厚ク革質又ハ丈夫ナ肉質ヲ呈シ、先端ハ稀ニ二重トナリ、邊緣及ビ頂部ニハ殆ド三角形ノ粗ナル齒狀突起ガ略ボ 2 列ニ並ンデキル。中肋ハ不明瞭デ頂端迄届カズ、毛叢ハ不規則ニ散布シテキル。氣胞ハ橢圓形ヲナシ、大ナルモノデ長サ 10 mm 許アリ、毛叢ヲ具ヘ頂端ニ小突起アリ、或ハ稀ニハ小葉ヲ冠スル。屢、周圍ニ縁ドリアリ。柄ハ扁平デ稍、葉狀ヲ呈シ 通常氣胞自身ノ長サヨリモ稍、短イ。



第 15 圖 あつばもく *S. crassifolium* J. Ag. \times ca. 6/11.

生殖器托ハ幾分扁壓サレ、表面平滑ナラズ、兩縁ニ刺ヲ具ヘ、巢狀様聚繖狀ニ集マリ密ナ團塊ヲ作り、同一器托上ニ雌性並ニ雄性ノ兩生殖窠ヲ生ズル。

本種ハ記文ニヨツテモ又信賴スベキ標本ニヨツテモ *S. duplicatum* J. Ag. 及ビ *S. cristaeifolium* Ag. ト區別スルコトガ甚ダ困難デアルガ REINBOLD 氏其他ガ指摘スル様ニ此等2種ニ於テハ氣胞ガ球形デアルニ反シテ本種ニ於テハ長目デアルノデ區別シタ。又 SETCHELL, GARDNER 兩氏ハ “American Samoa (1924)” p. 166 ニ於テタツイラ島産ノ *S. fonanonense* S. et G. ナル種ヲ記載シソノ種ヲ *S. telephifolium* (TURN.) J. Ag. 及 *S. densifolium* ZAN. ト比較シテキルガ此レハ本種ト甚ダ近似シタモノデ恐ラク本種ノ一形又ハ一變種ト思ハレル。

本種ハ臺灣ニ普通デ、鶯鑾鼻、噶嘑嘴、琉球嶼、臺東、火燒島等ニ見出サレル。又海外デハアフリカ南部、ニューギランド、ニューカレドニア、サモア島ニ産スル。



第16圖 たせやめもく *S. amabile* sp. n.
a. 成熟セル小枝 $\times 5/9$. b. 生殖器托 $\times 5/3$.



第17圖 たをやめもく *S. amabile* sp. n. \times ca. 4/11.

11. たそやめもく *S. amabile* YAMADA, sp. n.—(第16-17 圖)。

體ハ比較的纖弱デ中位ノ大サヲ有シ、高サ 50 cm 内外アリ。根ハ盛リ上ツタ小盤狀。莖ハ短ク長サ 1 cm = 達スルコト稀デ、乾燥標本デ直徑 1-2 mm 圓柱狀デ表面ハ平滑又ハ幾分疣々ガアリ、2-3 本（時ニ 5 本ニ達ス）ノ主枝ヲ各方面ニ發出スル。主枝ハ圓柱狀、糸狀、平滑デ長サ 50 cm = 達シ、直徑約 1 mm 小枝ヲ各方面ニ發スル。小枝（第二次）ハ長サ 15 cm = 達シ圓柱狀、絲狀、平滑又ハ個體ニヨツテ僅カノ腺ガ見ラレル。約 6-10 mm. ノ間隔ヲ以テ更ニ小枝ヲ各方面ニ發生スル。葉ハ體ノ基部附近ノモノハ線狀披針形デ長サ 4-7 cm 幅 6-8 mm アリ、鋸齒ハ明ニ或ハ時ニ不明瞭トナリ、基部ハ楔形ヲナシ、先端ハ尖銳、中肋通り、少數ノ毛叢ヲ具ヘテキル。體ノ中部以上邊ニアル葉ハ細線狀披針形又ハ屢、線形、1.5-5 cm 長ク、1-3 mm ノ幅アリ、他ノ點ハ大體下部ノモノト同様デアル。氣胞ハ倒卵形又ハ橢圓形、或ハ紡錘形或ハ稀ニ（特ニ大形ノモノ）殆ド球形ヲ呈シ、3-5 mm 長ク、頂端ハ圓ク又ハ特ニ若クテ紡錘形ヲナスモノハ先端ニ小突起ヲ有シ毛叢ヲ有スル。柄ハ圓柱狀ニシテ氣胞ノ長サヨリモ短イ。生殖器托ハ雌雄同株デハアルガ個體ニヨツテ主トシテ雌性生殖窠ヲ有スルモノト、主トシテ雄性生殖窠ヲ生スルモノトガアリ、單狀又ハ叉狀ニ分岐シ、扁壓又ハ三稜形ヲナシ屢、捩レ、時ニ上方ニ於テ幅廣クナリ、表面凸凹アリ邊緣ニ刺ヲ具ヘ 5-10 cm 長ク總狀又ハ聚繖狀樣總狀ニ配列サレ、主トシテ雄性生殖窠ヲ有スルモノハ主トシテ雌性生殖窠ヲ有スルモノヨリモ幾分細ク且ツ刺ガ少イ。

記文ヲ以テ判斷スルニ本種ハ *S. pseudocystocarpum* GRUN. 及ビ *S. pulchellum* GRUN. = 近似スルモノト思ハレルガ前者ヨリハ生殖器托ノ差ニヨリ又後者ヨリハ生殖器托ノ差及ビ葉ガ大ナルニヨツテ區別出來ル。他方又 *S. virgatum* (MERT.) J. AG. モ本種ニ幾分近似ヲ示ス樣デアルガ此種ノ生殖器托ハ刺ヲ有セザル點デ區別出來ル。

12. しろこもく *S. kushimotense* YENDO, *Fucaceae of Japan* (1907) p. 72, pl. 16, fig. 20.—(第18-19 圖)。

根ハ小サナ盛上ツタ盤狀デ直徑約 1 cm 許アリ。莖ハ甚ダ短ク殆ド 0.5 cm = 達セズ、圓柱狀デ平滑、通常 1-3 本ノ主枝ヲ各方面ニ發出スル。主枝ハ強ク扁壓サレ殆ド扁平トナリ約 60 cm 長ク、約 4 mm ノ幅アリ、略、平滑或ハ兩緣ノ所々ニ小刺狀突起ヲ具ヘテキル。上部雁木狀ヲナシ、小枝ヲ 2-3 cm ノ間隔ヲ以テ兩緣カラ互生樣羽狀ニ發出スル。第二次小枝ハ長キハ約 15 cm = 達シ扁在、平滑デ更ニ小枝ヲ羽狀ニ發スル。葉ハ廣イ披針形乃至線狀針形デ長サ約 6 cm = 達シ幅約 8 mm アリ殆ド無柄デ頂端ハ尖銳又ハ鈍頭、兩緣ハ著ク波打チ且ツ鋭キ鋸齒ヲ具ヘ、中肋通り又ハ先端迄届カズ、毛叢ハ生時ハ明デアルガ乾燥後ハ多ク不明瞭トナル。コレハ主トシテ乾燥腊葉ニ白粉ガフクニ由

ル。葉ハ時ニ又分岐スルコトガアル。氣胞ハ倒卵形又ハ橢圓形デ毛叢ヲ具ベ、大ナルモノデハ長サ 1.4 mm ニ達スル。先端ニハ小葉ヲ冠スル。柄ハ扁平トナリ、通常氣胞ノ長サヨリモ幾分長ク邊緣ニ鋸齒ガアル。生殖器托ハ單性デ雌性ノ生殖窠ヲ有スルモノハ扁壓長橢圓形、兩縁ニ小刺ヲ具ヘ單一又ハ分岐シ、總狀ヲナス。雄ノ生殖窠ヲ有スルモノハ雌ヨリ大ナル外コレト殆ド變ラナイ。

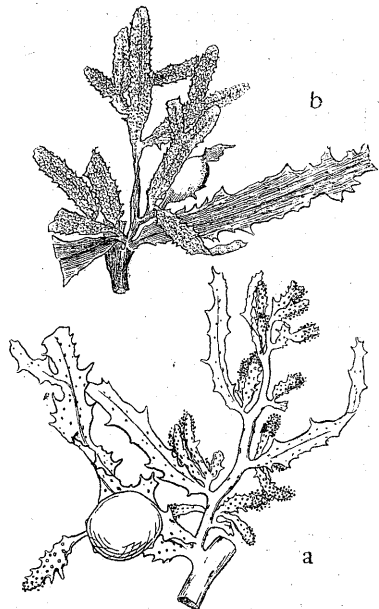
產地：紀州串本、日向油津及青島[?]、大隅志武志。

分布：本邦特産。

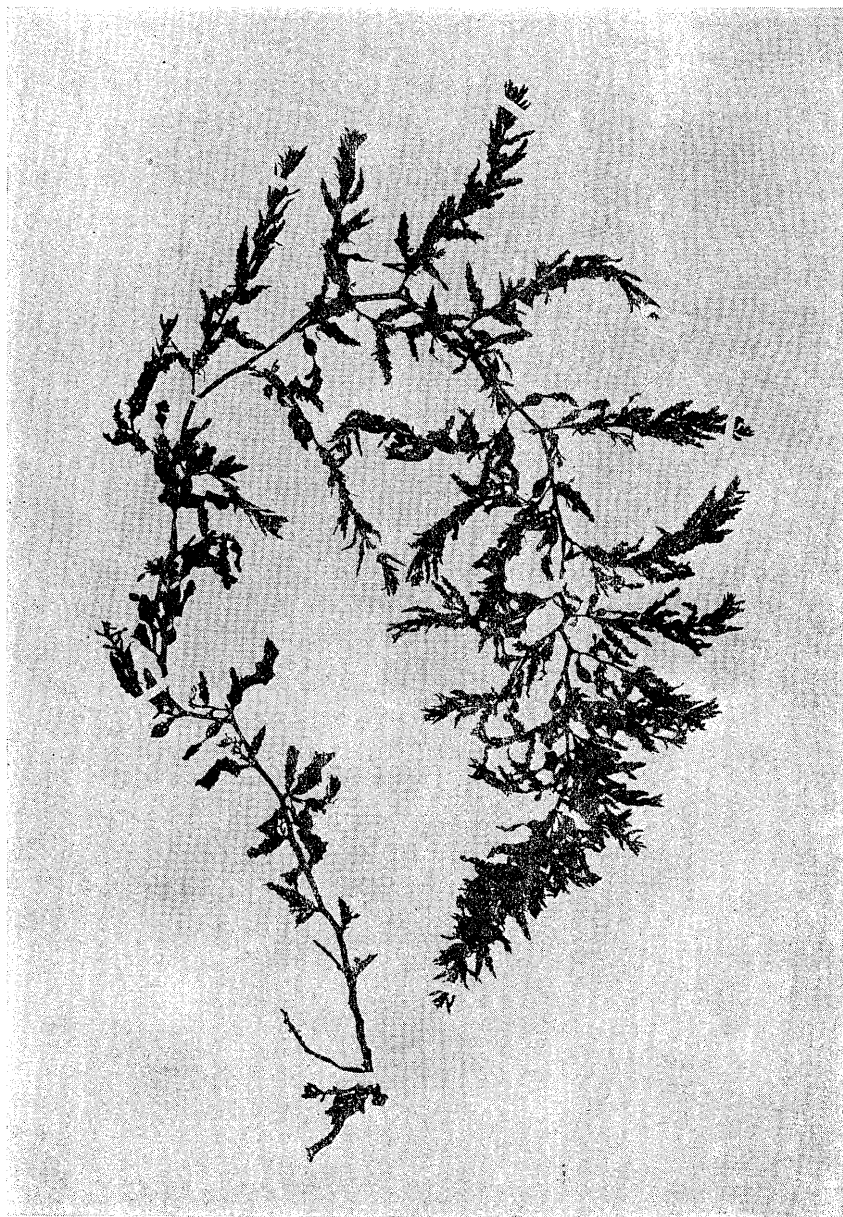
本種ハ明治 41 年故遠藤博士ニヨツテ記載サレタモノデアルガソノ原標本ニハ生殖器托ガナカツタ故ニ疑問ヲ以テ J. AGARDH ノ亞屬 *Arthrophycus* ニ編入サレテキタモノデソレヨリ以後ハ何人モ此ノ種ヲ報ジタ者ナク從テソノ生殖器托ハ不明ノ儘トナツテキタモノデアル。

(岡村先生ノ日本藻類圖譜 第 7 卷第 305 圖版ニ *S. kashiwajimanum* YENDO トシテ圖說セラレテキルモノハ矢張り生殖器托ヲ缺クモコレハ恐ラク *S. kushimotoense* YENDO デハナイカト思ハレル)。然ルニ甚ダ幸ニモ昭和 15 年 7 月猪野助教が原產地タル紀州串本ニ於テ打揚ゲラレタモノヲ採取シタ標本ニハ雌ノ生殖器托ヲ有スルモノガアリ、コレニヨツテ既ニ筆者ガ土佐國須崎ニ採集シタ 2 標本ガ此ノ種ニ屬スルコトヲ明ニナシエ、更ニ翌年 8 月田中理學士ハ筆者ノ爲ニ再ビ本種ヲ土佐須崎ニ探索シ、打揚品ノ内ニ數標本ヲ見出シタ、尙又中村理學士ハ日向國青島及ビ油津附近ニ於テ同ジク此ノ種ナラント思ハレル數標本ヲ採集シタガ此等ニ於テハ、特ニ青島産ノ標本ハ生殖器托ガ甚ダシク大キク、爲ニ尙幾分ノ疑問ヲ存スル。コレニヨツテ見ルニ本種ハ紀州カラ土佐ヲ經テ九州西岸方面ニ分布スルモノノ様デアルガ未ダ琉球、臺灣地方ニ於テハ確認スルニ至ラナイ。

13. へらもく ?*S. plagiophyllum* C. Ag., Syst. alg. (1824) p. 309; J. AGARDH, Spec. alg. vol. 1 (1848) p. 309; Id., Spec. Sarg. Austr. (1889) p. 120, pl. 12, fig. 4-5; GRUNOW, Additam. ad cognit. Sarg. (1913) p. 9; REIN-



第 18 圖 しるこもく *S. kushimotoense* YENDO. a. 成熟セル雌性生殖器托ヲ有スル小枝、土佐須崎産 $\times 3/2$. b. 雄性生殖器托、日向青島産 略自然大。



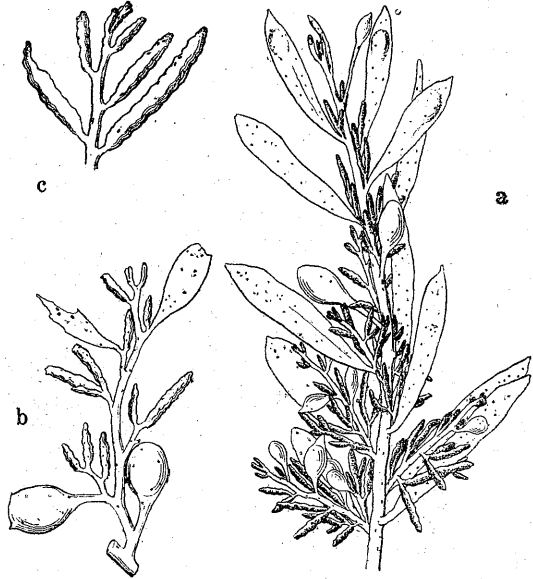
第 19 圖 しろこもく *S. kushimotoense* YENDO $\times \frac{2}{3}$.

BOLD, in WEBER v. BOSSE's Liste des alg. du Siboga vol. 1 (1913) p. 166.—(第20-21圖)。

根並=莖ハ不明。主枝?ハ圓柱狀平滑デ小枝ヲ各方面ヘ、略、1.5-2 cm ノ間隔ヲ以テ發出スル。小枝ハ長キハ約 20 cm =達シ細イ點ヲ除イテ 略、主枝ト同様。葉ハ體ノ下部ノモノハ線狀長橢狀長橢圓形或ハ倒披針形或ハ筵形等ヲナシ、長サ約 3 cm 幅 5 mm =達シ(乾燥品ニテ)全邊ニシテ邊緣幾分波打チ先端ハ略、鈍圓或ハ幾分尖リ或ハ微凸頭ヲ有スル。上部ノ葉ハ筵形又ハ倒披針形、大ナルモノデ約 2.5 cm 長ク 6 mm 廣ク有柄デ邊緣ハ波打チ殆ド全縁デアルガ屢々上端近ク=僅カ=鋸齒ヲ有スル。頂端ハ圓ク、基部ヘ向テ漸々=細マリ幾分不均齊ナ楔ヲ呈スル。上部ノモノモ下部ノ葉モ共ニ不明瞭デ且ツ直キニ消失スル中肋ト判然トシテ稍、2列ニ列ング毛叢ヲ具ヘル。氣胞ハ橢圓形又ハ倒卵形デ長サ 7 mm =達シ先端圓イカ或ハ小突起ヲ有シ或ハ兩角狀ノ小突起ヲ有スル。柄ハ扁平デ幾分氣胞自身ノ長サヨリモ長ク、毛叢ヲ有スル。氣胞ハ又屢、葉ノ上部=埋込スルコトガアル。生殖器托ハ雌雄別株デ雄ノ生殖策ノミヲ有スルモノハ圓柱狀デ稍、聚繖狀總狀ニ配列サレルガ後圓錐花穗狀トナル。

產地：臺灣火燒島。

分布：セイロン島、昭南島、スンダ海峽、支那海。



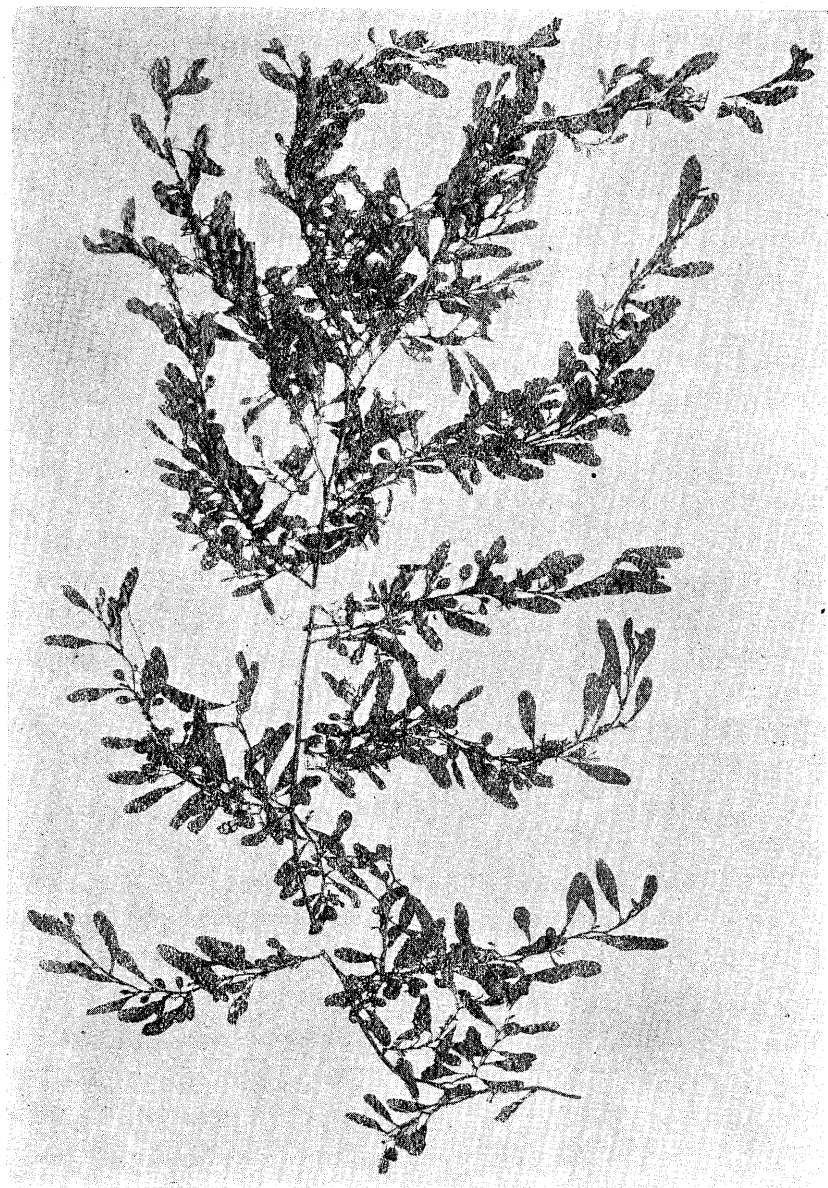
第20圖 へらもく *S. plagiophyllum* C. Ag.
a, b. 成熟セル小枝 4/3 c. 生殖器托 ×2。

ト判然トシテ稍、2列ニ列ング毛叢ヲ具ヘル。氣胞ハ橢圓形又ハ倒卵形デ長サ 7 mm =達シ先端圓イカ或ハ小突起ヲ有シ或ハ兩角狀ノ小突起ヲ有スル。柄ハ扁平デ幾分氣胞自身ノ長サヨリモ長ク、毛叢ヲ有スル。氣胞ハ又屢、葉ノ上部=埋込スルコトガアル。生殖器托ハ雌雄別株デ雄ノ生殖策ノミヲ有スルモノハ圓柱狀デ稍、聚繖狀總狀ニ配列サレルガ後圓錐花穗狀トナル。

產地：臺灣火燒島。

分布：セイロン島、昭南島、スンダ海峽、支那海。

本種ノ標本ハ上記ノ場所ニ於テ海岸ニ打揚ゲラレタモノガ2個アルノミデアツテ何レモ主枝ノ一部ト思ハレルモノデアル。故ニソノ基部ハ不明デアルガ共ニ生殖器托ヲ具ヘテキル。全體ノ様子ハ本種ニ酷似スルガ、氣胞ノ柄ガ扁平トナル點又氣胞自身ガ長目トナル點等ハ記文並ニ圖ト一致シナイ。然シ此等ノ點ハ恐ラク種トシテノ區別點トハ思ハレズ、恐ラク本種ト同定シテサツカヘナイト思ハレルガ尙他日多數ノ標本ヲ檢スルニ至ルマデ暫ク種名ニハ疑問ヲ附スル。



第 21 圖 へらもく *S. plagiophyllum* C. Ag. $\times 5/12$.